学校番号	３１８

令和８年度　芸術科[音楽]

教科	芸術	科目	（学）選択音楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	トスティ 50 番中声用（全音楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱、器楽、楽典、鑑賞に取り組みます。歌唱は音楽Ⅰ・Ⅱで取り上げなかった曲（独唱・合唱）を取り上げます。器楽は任意で楽器を選び、各自の能力に合わせた課題に取り組みます。楽典はプリント学習によって音楽の基礎知識を学びます。観賞は音楽史にそって各時代の代表的な作品を取り上げて鑑賞します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動をとおして、様々な音楽の構造や文化的・歴史的背景を理解し、歌唱法、器楽奏法の技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】
身に付いた知識・技能を生かして自己のイメージをもって音楽表現が出来るようになるまた演奏を通して感じたことと文化的・歴史的背景についての関わりについて考えを深める

【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を身につける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	楽しく歌う	【歌唱】 Ave Maria Imagine 瑠璃色の地球 いつも何度でも 【ソルフェージュ】 トスティ５０番	a: 曲想をイメージして音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け創造的に表している。 b: リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを作者の作曲意図や歌詞の内容にかかわらせて、どのように歌うか創意工夫している。 c: 大きな声を出して歌うことに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	実技試験	ワークシート	練習時における観察及び演奏聴取
	器楽演習	【器楽】 任意に楽器を選択(キーボード、ギター、ベース、ドラムなど)して、それぞれの経験値に応じて課題を設定し演奏技術の習得に取り組む	a: 個々の楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために、必要な技能を身につけ、創造的に表している。 b: 個々の楽器が生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて、どのように演奏するのか創意工夫している。 c: それぞれの楽器の特質を味わいながらグループで合奏することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	実技試験	ワークシート	練習時における観察及び演奏聴取
2学期	楽典と鑑賞	【楽典・鑑賞】 自主制作プリントの内容に沿って楽典の学習および音楽史に沿って代表的な楽曲の鑑賞	a: 特徴を生かした音楽表現をするために、必要な読譜の技能を身につけ、創造的に表している。 b: 学習の中で学んだ知識や楽曲に対して自分の考えや意見を創意工夫している。 c: 各時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。	小テスト	ワークシート	学習時における観察及び鑑賞の態度

		【器楽】 １学期で培った演奏技術を基にして器楽合奏に取り組む	a: 個々の楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために、必要な技能を身につけ、創造的に表している。 b: 個々の楽器が生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて、どのように演奏するのか創意工夫している。 c: それぞれの楽器の特質を味わいながらグループで合奏することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	実技試験	ワークシート	練習時における観察及び演奏聴取
３学期	合唱に取り組む	【歌唱】 卒業式に歌う歌として選ばれた合唱曲	a: 曲想を歌詞の内容とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。 b: 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を歌詞の内容にかかわらせて、音楽表現を創意工夫している。 c: 声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。	実技試験	ワークシート	練習時における観察及び演奏聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度